

風流々

～第33号～

編集・発行 乙訓福祉施設事務組合 乙訓若竹苑

〒617-0813 長岡京市井ノ内西ノ口 17-8

TEL 075-954-6501 FAX 075-954-6588

Mail otsufukuwakatakeen@lake.ocn.ne.jp

2018(平成30)年度 冬～春号

Topics

毎年恒例、お楽しみ会が今年も開催されました!!

平成31年3月7日に、皆さんお待ちかねのお楽しみ会が行われました。今年も司会は、就労継続支援(B型)事業の利用者さんです。司会の2人は、まずはプログラムをしっかりと読もうと何度も職員に聞いて、昼休みに打ち合わせされてきました。また、自分たちであらかじめ喋りたい事を考えて、フリートークの時間として発表です。「少しドキドキするなあ」と言っておられましたが、頑張って進行されていました。



はじめは、就労継続支援(B型)事業の出しものです。7問の動物○×クイズでした。答えやすい方が良いとの思いで○×に、ジャンルも皆知っている動物など、配慮いっぱいです！ わかりやすいよう問題文を紙に書き、しっかり見えるよう角度調整したり、はっきり分かるように写真で正解を発表などの工夫もされています。問題を読む速さなども、考えて発表されました。簡単なようで難しい問題に、会場内の盛り上がりが高まります。

つぎは、地域活動支援センターの出しものです。利用者さんの幼少期写真をスライドに映し、誰か当てるクイズです。もちろん、クイズの進行は利用者さんが主体です。答え発表の際、本人さんが立ちあがって「私です」と答えますが、中

には「はずかしい…」と顔をおもわず隠してしまう人も。会場の人たちは、写真を見て「かわいいなあ」「ほんまになん!？」などと楽しまれていました。心が癒される、楽しい発表でした。

生活介護事業は、お楽しみ会を盛り上げるべく飾りをつくりました。雰囲気作り、これは外すことが出来ない大きな使命と、みんなで頑張りました。黒い布に細かく切った布をボンドで貼ることで「おたのしみかい」の文字を作り、看板の完成。多彩な色使いと重ねて張った布のおかげで、立体感ある温かみあふれた看板を作ることができました。他にも、屋内飾り用に利用者さんが好みの糸を使い、自由に縫ったフェルトを飾りました。糸が模様のように表現され、綺麗に出来上がりました。また、画用紙を三角に切り、麻ひもにテープで留めたガーランドも作りました。

そして、お楽しみ会と言えばボランティアさんと若竹会の皆さんの出しものが名物です!

今年は、ボランティアサークルの「わの会」さんが来てくださいました。創作踊りをしてくださいましたが、全員が参加できるよう、鳴子を配ってくださいました。リズムに合わせ、皆で鳴子を鳴らすとたちまち会場が笑顔いっぱい。「踊るぼんぼこりん」では、より盛り上げようと衣装をかわいいウサギに変えて登場というサプライズ! 皆が知ってる曲で踊ってくださったので、利用者さんも自然とヒートアップするほど盛り上がる事ができました。



最後に、会長さんのギターを伴奏に、みんなで歌うのは... 「未来へ」「恋するフォーチュンクッキー」です。さらには、アンコールで「いい湯だな」まで! 会長さんの巧みな進行と若竹会の皆さんのコーラスに、みんな引き込まれて熱唱していました。

楽しい時間はあっという間に終わってしまうもので、残念そうな声があがりますが、なかには早くも来年を期待する声も。1年後、またみんなで笑顔の花咲かせたいですね。皆さん、お疲れさまでした!